

安心を持ち歩こう



●システム概要

PITTO とは、私たちが考え出したシステムの名称だ。“ピッとするだけで安否確認”というコンセプトが由来となっている。親族・関係者の連絡先を事前に登録しておくことで、災害時に平時から利活用している交通系 IC カードでタッチ式の安否確認を行うことができるシステムだ。コンビニや自動販売機のカード読み取り機にタッチして現在地と災害に関する情報を送信する。また、持病や血液型といった個人情報も登録しておくことで被災時に医療関係者が救護活動を行う際の一助になると考える。



●課題とする問題とその解決方法

(1)災害時に携帯を持っていない人や使えない人、また携帯が電池切れなどで使えなくなってしまった人はスムーズな安否確認ができない。

⇒ 多くの人が常に持ち歩いている交通系 IC カードでの安否確認を可能にする

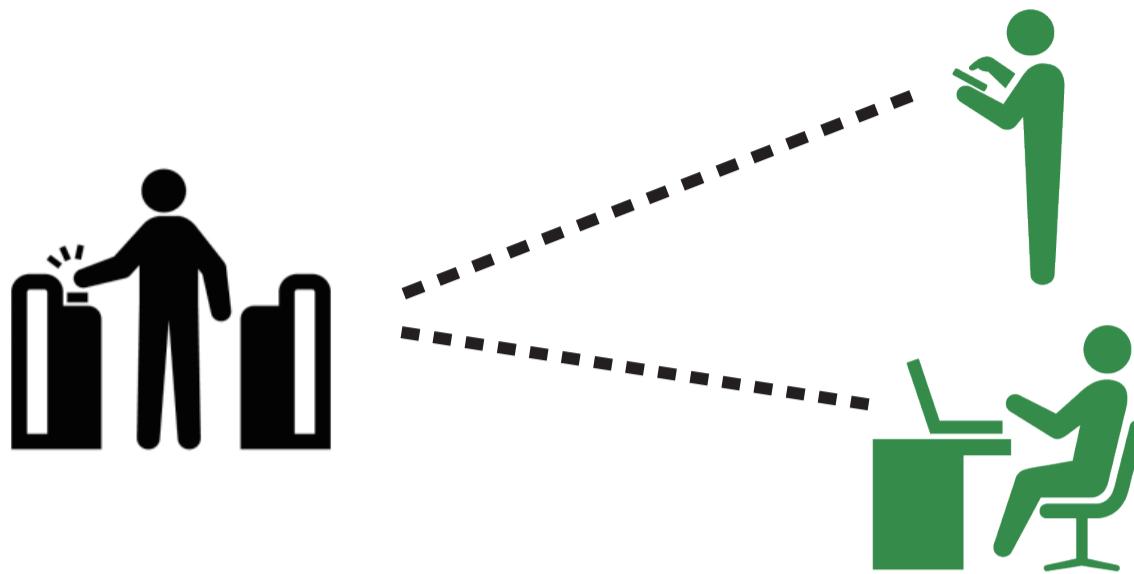
(2)被災時、自らの意思表示ができない状態にあり、また親族も周囲にいない場合、自身の持病などを医療従事者に伝えることができない。避難生活に於いて持病や障がいをもつ人がそれを伝えられず、適切な配慮が為されないことがある。(特に人口の多い東京ではこういったことが起こりやすい)

⇒ 交通系 IC カード内に自身の持病・障がいや血液型の情報を登録しておくことで緊急時に速やかに処置・対応を受けられるようにする

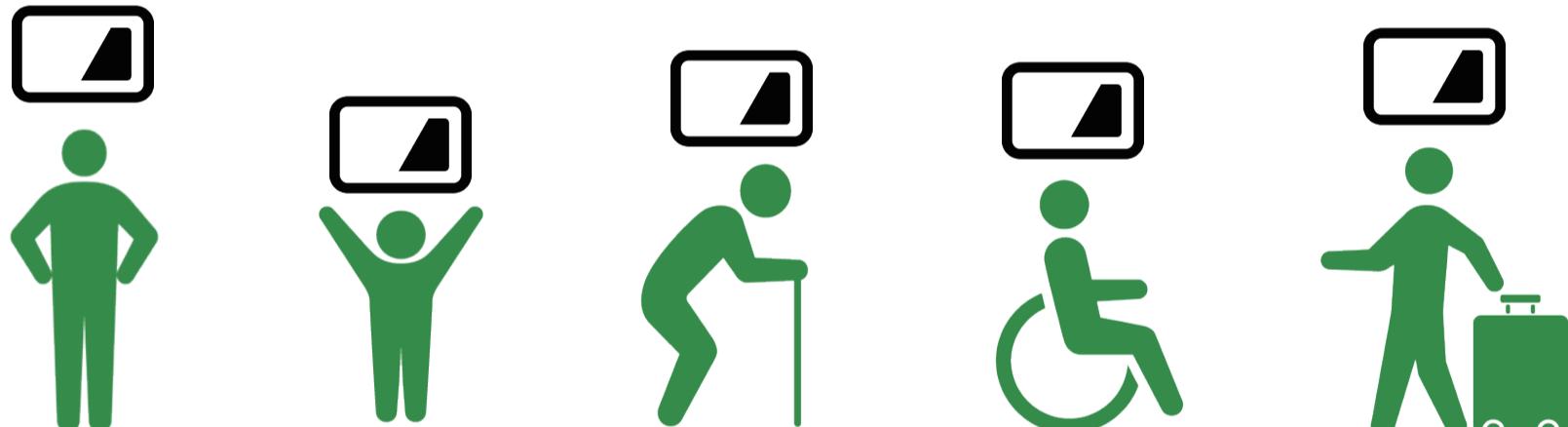
(3)外国人観光客などは災害時に情報を手にいれることが難しく、また安否確認も難しい。

⇒ 来日時に交通系 IC カードを購入してもらい、緊急時の連絡先や母国語を登録する事で災害時の安否確認と状況の把握が速やかに行えるようにする

PITTO の3つのメリット



(1)特に交通網が複雑な東京で多くの人が平時から携帯し利活用しているICカードは、災害時でも携帯している可能性が高い。私たちは外出している際、携帯電話で連絡をとりあうことが多いが、このシステムがあればどちらかが携帯を使用できなくてもICカードさえ持っていれば安否確認ができる



(2)交通系 IC カードは 500 円で購入できるうえに払い戻しも可能なので外国人観光客が利活用しやすいツール。それを活かした本システムは、東京に居るまたは訪れるすべての人が利用できるシステムになっている



(3)非常時にいつまでバッテリーがもつかわからない携帯に依存することなく、速やかに自身の安否や居場所を関係者に知らせることができる